



こうか 市議会 だより

第5号

平成18年2月1日発行

おもな 内容

- 新議員による初定例議会 …… 2～3
- 議員紹介と抱負 …… 4～5
- 各常任委員会活動報告 …… 6～9
- 各会派による代表質問 …… 10～11
- 一般質問（15名が問う） …… 12～16
- 組合議会などの動き …… 17
- くつろぎこうか（シリーズVol.1） …… 18

平成18年度 甲賀市成人式

新成人の新しい門出を祝福し、将来を激励するとともに、次代の地域社会を担う新成人としての自覚を新たにする機会として、甲賀市成人式が1月8日、水口文化芸術会館で行われました。（甲賀市では成人式対象者は1227人）



議会で審議したもの

人事・条例・請願・意見書ほか



全員協議会

新議員による初の定例議会・臨時会

甲賀市議選後、新議員による初議会が開かれた。11月4日の臨時会は議会人事と一部条例の制定が決まり、12月1〜19日の間は、定例議会が開かれ、議案56件、報告（専決）4件、請願1件、意見書4件、決議1件が上程され、即決議案の他は各常任委員会に付託審議され、最終本会議にて可決された。尚、請願1件は継続審議となった。特筆すべきは、議員提出による「非核平和都市宣言に関する決議」が全会一致で採択されたことである。

臨時会

人事（敬称略）

- ▽議長 服部 治男
 - ▽副議長 今村 和夫
 - ▽監査委員 中島 茂
 - ▽総務常任委員会 7名
 - ▽民生常任委員会 8名
 - ▽文教常任委員会 7名
 - ▽産業建設常任委員会 7名
 - ▽議会運営委員会 8名
 - ▽広報特別委員会 8名
- （委員の紹介は、委員会（ページ参照））

条例の制定

▽甲賀市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

12月定例議会

▽甲賀市特別職員の給与等に関する条例及び甲賀市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定

総務常任委員会 審議されたもの

▽平成17年度甲賀市一般会計補正予算（第5号）
他2議案

民生常任委員会 審議されたもの

▽甲賀市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

文教常任委員会 審議されたもの

▽甲賀市あいの土山文化ホール条例の一部を改正する条例について
他5議案

産業建設常任委員会 審議されたもの

▽甲賀市国民宿舎かもしか荘条例の制定について
他15議案、請願1件

人事（敬称略）

▽教育委員会委員の任命
山田喜一郎

条例の一部改正

- ▽甲賀市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
『全員賛成にて可決』
- ▽甲賀市税条例を改正する条例の制定
『賛成多数にて可決』
- ▽甲賀市消防団条例の一部を改正する条例の制定
『全員賛成にて可決』

決議

▽非核平和都市に関する決議

請願

▽同和地区水洗化促進補助金における旧水口町との約束の早期履行を求める請願書（産業建設常任委員会に付託。審議の結果、継続審査）

補正予算

▽平成17年度甲賀市一般会計補正予算（第5号）
（総務常任委員会付託）
他5議案即決



新議場での定例議会

▽同国民健康保険特別会計補正予算

▽同老人保健医療特別会計補正予算

▽同公共下水道事業特別会計補正予算

▽同農業集落排水事業特別会計補正予算

▽同水道事業会計補正予算
『全員賛成にて可決』

意見書

▽甲賀市民の生活を支える道路整備の推進と道路財源の確保に関する

意見書

『賛成多数にて可決』

▽日本と同水準のBSE検査体制、安全対策が実施されない限り米国产牛肉の輸入再開を行わないよう求める意見書
『賛成少数にて否決』

▽「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書
『賛成多数にて可決』

▽議会制度改革の早期実現に関する意見書
『全員賛成にて可決』

その他主なもの

▽土地改良事業の施行につき議決を求める（水口町・中地区）
『全員賛成にて可決』

▽土地改良事業計画の変更につき議決を求める（信楽町・黄瀬地区）
『全員賛成にて可決』

▽字の区域及び名称の変更につき議決を求める（水口町・虫生野虹の町）
『全員賛成にて可決』

▽市道路線の認定（岩室・中野線）（寺庄・上川原線）
『全員賛成にて可決』

▽甲賀市人権尊重の都市宣言につき議決を求める
『全員賛成にて可決』

▽甲賀広域行政組合規約の一部変更に関する協議につき議決を求める
『全員賛成にて可決』

▽訴えの提起につき議決を求める
『全員賛成にて可決』

特別委員会の設置

▽特別委員会が設置される
・交通対策特別委員会
・第二名神対策特別委員会
・産業廃棄物対策特別委員会
（詳細は17ページ）

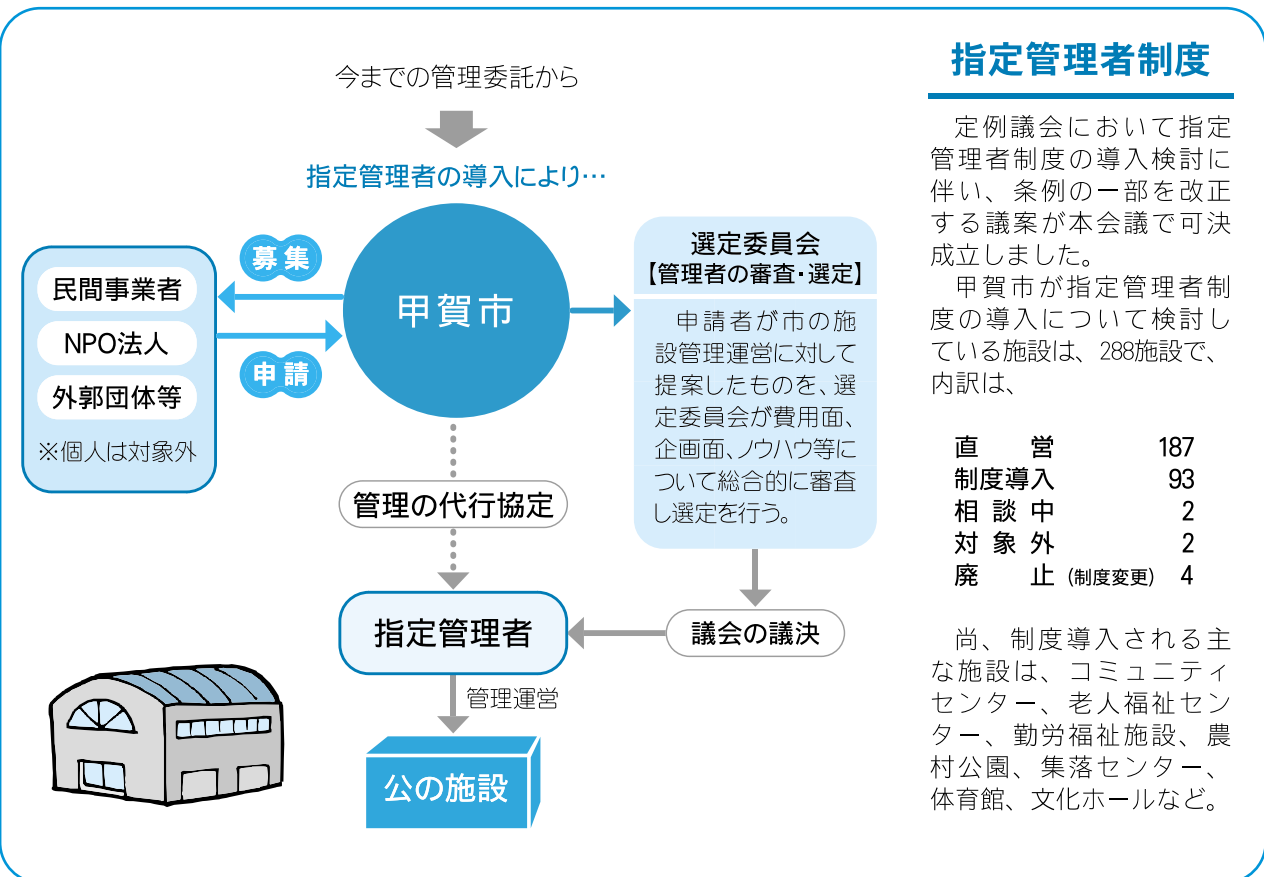
指定管理者制度

定例議会において指定管理者制度の導入検討に伴い、条例の一部を改正する議案が本会議で可決成立しました。

甲賀市が指定管理者制度の導入について検討している施設は、288施設で、内訳は、

直営	187
制度導入	93
相談中	2
対象外	2
廃止（制度変更）	4

尚、制度導入される主な施設は、コミュニティセンター、老人福祉センター、勤労福祉施設、農村公園、集落センター、体育館、文化ホールなど。



第1選挙区 水口



身近に使える情報化社会を目指します。



市民・地域・都市の「健康」甲賀市を!



新市発足後1年、自らの責務の重大さに身を引き締め、「皆でつくる住みよさと活気あふれるまち」の礎を築く為精一杯頑張ります。

副議長

清風クラブ



みんなで考えよう!! みんなの甲賀市。



精進無涯=愛のある市政を目指し熟慮断行。



「大悪起れば大善来る」ピンチをチャンスに。

公明党



納税者、働く者の立場を基本に活動します。



皆さんの視線にたって行動して参ります。

正政会



安心・安全な活力のあるまちづくりに取り組みます。



活力とうるおいのあるまちづくりをすすめます。

清風クラブ



合併して良かったと実感できる様、頑張ります。



平和・福祉と暮らし守り全力で頑張ります。

日本共産党

水口町



一人ひとりの人権が尊ばれ、安全安心な暮らしが約束された都市には、市民の笑顔と誇りがあります。市民の皆さんと協働・自立のもと、時代の一步先行くまちづくりを進めます。

甲賀市長

清風クラブ



第二期甲賀市議会として市民憲章(あいこうか)をもとに、昨年世相漢字が示す「愛」あるまちづくりに取り組む。愛市民・愛山河。

議長

清風クラブ



皆様の願いを届け、行政をチェックします。

日本共産党



「夢」のあるまちづくり、東海圏との交流を。

清風クラブ

第2選挙区 土山



甲南町

甲賀町

土山町

第5選挙区 信楽



情熱と創造、決断と実行で凛とした甲賀市を。

清風クラブ



「あるべきようは」この言葉が今必要です。

清風クラブ



大衆とともに、を原点に甲賀市発展に努める。

公明党



すべての人が輝ける甲賀市をつくりたい!!

清風クラブ



「初志貫徹」を肝に命じ頑張ります。

清風クラブ

第4選挙区 甲南



いつも市民の目線で。要求実現へ全力投球。

日本共産党



「笑顔と元気」で「夢来甲賀」に努めます!

清風クラブ



安全で安心して暮らせるまちに!

清風クラブ



女性が輝くまちづくり、共に築こう甲賀の夢を。

清風クラブ



市政に夢を、地域に力を。

清風クラブ



大衆と共に語り大衆と共に戦う政治家たらん。

公明党

第3選挙区 甲賀



市民の立場になって愛あるまちづくりに努力。

清風クラブ



活気あふれるまち、甲賀市へ——情熱無限大!

清風クラブ



豊かな農村の実現。

清風クラブ



何事にも「不易流行」変化と不変の甲賀市を。

清風クラブ

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です

「人の心を大切に 愛のある行政」の実現に向かって

総務常任委員会では、7名の委員構成で総務部、企画部、財務部、会計課、監査事務局、議会事務局の所掌事務を担当します。行政推進の中核を担っており、甲賀市民の付託に応える市政運営に委員一同努めてまいります。

第一回委員会

(11月29日)

所管事務調査

- ①甲賀市水防計画について
 - ②甲賀市総合計画の進捗状況について
 - ③地域情報化計画の進捗状況について
 - ④甲賀病院移転事業の状況について
 - ⑤財政事情について
- 第一回委員会では、所管する5点の事項について調査しました。
- 水防計画については、市民の生命財産を守る安全安心の観点から、災害

発生時における各地域との連携、自主防災の観点から地域への啓発・啓蒙、組織作り、危険箇所である急傾斜地の補助制度、避難訓練計画等について調査、執行部より説明を求めました。尚、地震対策など自然災害全体に対

する計画や対応を定める防災計画は18年3月に策定される予定です。市総合計画策定の進捗状況では、18年秋に基本構想を発表する予定で、新市建設計画（合併時の計画）を基礎に進められているが、情勢の変化に

対応する為精査が必要である事、策定に合わせて都市計画の用途指定調整と今後第2名神供用開始と共に土地利用計画の見直しが必要であるとの意見がありました。

地域情報化計画の進捗状況では、計画策定の参考資料とするため、市民3500人を対象にアンケート調査を実施すると

の事、甲賀市全域の情報一元化の実現に期待されます。

第二回委員会

(12月14・15・16日)

付託案件の審議

本会議より付託された次の3件について2日間

にわたる審議を行い、全会一致で可決しました。

- ①甲賀市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について（指定管理者制度の導入に伴う条例改正）
- ②甲賀市長期継続契約を

締結することができる契約を定める条例の制定について（機器の貸借、保守点検、その他長期継続を必要とする契約が可能）

③平成17年度甲賀市一般会計補正予算について（歳入歳出をそれぞれ13億7465万6000円を減額）



審議中の委員会

公立甲賀病院移転事業については、虫生野山地先の移転は白紙と報道されたが、用地取得は3月末までであり、時間を掛けて取得に取組んで行くので移転新築については白紙というわけではないとの事でありました。

財政事情については、地方交付税等一般財源の減少と義務的経費の増により非常に厳しい状況にあります。各委員からは財政の現状から市行政計画を早急に策定する必

要がある事の意見が出されました。18年度予算は現在策定中の総合計画と整合を取りながらの予算となるため抑えられた予算規模となる見込みです。

総務常任委員メンバー



- 〔前列左から〕
- 委員長 山川 宏治
 - 副委員長 白坂萬理子
 - 委員 藤井 克宏
 - 石川善太郎
 - 岩田 孝之
 - 安井 直明
 - 木村 泰男
- 〔後列左から〕
- 委員 〃
 - 委員 〃
 - 委員 〃
 - 委員 〃

委員会報告

民生常任委員会

市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です



(左から)鵜飼勲・山岡光
広・野田卓治・中島茂・橋
本律子(委員長)・加藤和
孝(副委員長)・中西弥兵
衛・土山定信の各委員

安心して暮らせる
健康・福祉のまちづくり

民生常任委員会は、市民のみなさんの生活と環境、医療保健と福祉、人権など幅広い事項を所管する委員会です。健康づくり、病気・予防対策・子育て・環境・国際交流

などそれぞれの課題をしつかりととらえ、均衡ある発展にむけて、委員一同努力してまいります。さて、今議会には、9議案が付託され慎重に審議しました。いずれも公

の施設にかかる指定管理者制度導入に伴う条例の一部改正です。対象となるのは(民生常任委員会付託分)、自転車駐車場(現在16カ所)、駐車場(同7カ所)、福祉ホール、

保育園(同25カ園)、子育て支援センター(同5カ所)、デイサービスセンター(同3カ所)、老人福祉センター(同3カ所)、訪問看護ステーション(同2カ所)、身体障害者生活支援センター(同1カ所)。いずれも管理業務、利用料金の收受に関する業務、また利用料金、休館日、休業日などを条例に明文化するも

のです。審議の中では、現状の委託内容や料金の違いをどう整合性をはかっているのか。保育園については、現在3カ園が社会福祉法人に委託されていますが、指定管理にする際には「社会福祉法人」と限るのかどうかなどの意見ができました。慎重な審議の結果、全会一致で可決しました。

市内の環境・福祉施設を現地視察しました

11月24日

水口不燃物処理場

市内から搬入された不燃物を集積ストック。資源・埋立てごみに分別管理。



土山町子育て支援センター

土山支所東隣に設置された子育て相談・支援・サークル支援等を実施。



甲賀西保育園

17年3月完成し、4月より自園給食・一時保育事業が開始。



甲南町放課後児童クラブ

甲南第一小学校グラウンド横に設置され、多くの児童が利用している。



特別養護老人ホーム信楽荘

多くの利用者が入所されているユニットケアの施設を見学。



文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

平成17年度教育委員会の基本方針と事業概要

本年度教育委員会に係る予算額は84億円で、一般会計予算全体の20%です。3月議会において「甲賀市文化まちづくり審議会条例」と「甲賀市スポーツ振興審議会条例」の2件を制定し、文化、芸術、スポーツの振興により、新市まちづくりの基本方針とするものです。

17年度の主な事業概要

- 貴生川小学校校舎改築



建設中の土山体育館を調査



(仮称)土山・甲賀・甲南学校給食センター

及び耐震補強、大規模改造事業

- 工事費 16億円
- 小原小学校校舎改築事業
 - 工事費 12億円
- 学校給食センター改築事業
 - 工事費 13億円
- 土山体育館建設事業
 - 工事費 7億1千万円
- 甲賀B&G改修工事
 - 工事費 1億1千万円

「指定管理者制度」に伴う条例改正

教育委員会関係は6議案を採択

指定管理者制度導入の背景は、バブル経済崩壊後の経済低迷による財政悪化からの脱却を図るための社会、経済の構造改革の一環として「民間でできることは民間に」をモットーに総合規制改革会議を中心とした議論の中で創設されました。

これまで教育委員会が所管する施設の管理運営については、市が出資する財団法人や公共団体にしか委託することができませんでしたが、今後は指定管理者制度の導入により、民間事

業者のノウハウを十分活用した手法により、利用者に対するサービスの向上と、施設の効果的、効率的活用や、限られた財源の有効活用などが期待できます。

今回の指定管理者制度導入で左記の施設の条例が改正。

- ◎ 甲賀市あいの土山文化ホール条例改正
- ◎ 甲賀市歴史民俗資料館条例改正
- ◎ 甲賀市旧水口図書館条例改正

市内中学校大健闘

甲南中学校 サッカー 全国大会 第3位

甲南中学サッカー部は第36回全国中学校サッカー大会で全国第3位という輝かしい記録をおさめました。

全国大会までの歩み

滋賀県中学校夏季総体

決勝 甲南中 3対0 志賀中

近畿中学校総体

決勝 甲南中 7対2 嵯峨中

第36回全国大会

準々決勝 甲南中 3対0 海星中

準決勝 甲南中 0対1 朝日丘中

土山中学校 駅伝 全国大会 第18位

中学校駅伝においては、滋賀県大会で土山中学校が2年連続の優勝をなしとげ12月18日千葉市での第13回全国中学校駅伝大会に県代表として48チーム中18位の好成績をおさめました。

文教常任委員メンバー



- 〔前列左から〕
- 副委員長 伴 資男
 - 委員長 村山 庄衛
 - 委員 今村 和夫
 - 〔後列左から〕
 - 委員 松本 昌市
 - 委員 辻 金雄
 - 委員 林 勝彦
 - 委員 舩 藤男

◎ 甲賀市甲南青少年研修センター条例改正

◎ 甲賀市スポーツ施設条例改正

条例改正の概要は指定管理者による業務の明示でありその他の内容の変更はありません。

18年4月1日より施行されますが、今回は非公募の方針です。今後現在の引き受け団体が内容を充実され、体力をつけられることを期待するところです。

委員会報告

産業建設常任委員会

産業・観光振興、交通・上下水道の整備に関わる委員会です

**地域の個性を活かし、
たくましい産業が
育つまちづくりのために**

産業建設常任委員会は、地域交通基盤の整備、産業振興と雇用の創出、地場産業の活性化、農林業の生産基盤整備や担い手の育成、地域資源を活かした観光振興、生命の根源を支える上下水道の整備等々、市民生活に直結した部門を所管する委員会です。市民の皆さんが



委員会風景

第一回委員会

(11月22日)

安心して暮らせる豊かで活気あふれる「甲賀市」となるよう、委員一同その使命達成のために、精一杯努力していく所存です。

①産業経済部の所管する事項について

第二回委員会

(12月14・15・16日)

②農業委員会の所管する事項について

③建設部の所管する事項について

④上下水道部の所管する事項について

第一回委員会では、所管する事項について、それぞれの担当課より説明を受け、それに対して活発な質疑がありました。今後、早い時期に市全域にわたる事業、施設を現地調査し、委員の認識をさらに深めてまいります。

産業建設常任委員メンバー



委員	小松 正人
委員	葛原 章年
委員	福西 義幸
委員	友廣 勇
副委員長	辻 重治
委員	河合 定郎
委員	酒巻 昌市

〔前列左から〕
委員 小松 正人
委員 葛原 章年
委員 福西 義幸
委員 友廣 勇
副委員長 辻 重治
委員 河合 定郎
委員 酒巻 昌市

〔後列左から〕
委員 小松 正人
委員 葛原 章年
委員 福西 義幸
委員 友廣 勇
副委員長 辻 重治
委員 河合 定郎
委員 酒巻 昌市

12月7日の本会議において、当委員会に付託された議案16件・請願1件について二日間わたる委員の活発な審査・議論の結果、議案16件については「全会一致」で可決するべきものと決定。請願1件については、更なる請願内容の精査と慎重審議の必要性が各委員より出され、賛成多数にて継続

するべきものと決定。請願1件については、更なる請願内容の精査と慎重審議の必要性が各委員より出され、賛成多数にて継続

するべきものと決定。請願1件については、更なる請願内容の精査と慎重審議の必要性が各委員より出され、賛成多数にて継続



湖南市朝国にあるポンプ場 沈砂池の調査

12月7日の本会議において、当委員会に付託された議案16件・請願1件について二日間わたる委員の活発な審査・議論の結果、議案16件については「全会一致」で可決するべきものと決定。請願1件については、更なる請願内容の精査と慎重審議の必要性が各委員より出され、賛成多数にて継続

12月7日の本会議において、当委員会に付託された議案16件・請願1件について二日間わたる委員の活発な審査・議論の結果、議案16件については「全会一致」で可決するべきものと決定。請願1件については、更なる請願内容の精査と慎重審議の必要性が各委員より出され、賛成多数にて継続



市結婚相談員との懇談会 (12月15日)

各会派による代表質問

18年度予算編成、子ども最優先の子育て支援を 公立甲賀病院の移転・新築問題、AEDの設置・普及を

公明党



白坂 萬里子

問 平成18年度予算は、一般財源約30億円を削減するとの事、市長の強いリーダーシップと決意を伺う。

市長 厳しい財政事情に鑑み、安易に一律削減し収支の均衡を図るのではなく、最小の経費で最大の効果が上るよう創意工夫と見直しを検討する。市民の貴重な税金を必要度の高い分野に配分する。

問 水口に、保幼一元化を視野に入れた園舎建設を。

市長 子供が心豊かに成長する為に、どのような保育・幼児教育が必要であるか今「保幼検討委員会」を立ち上げ検討している。18年度からは3才児の受入れ定員を増やし、3才未満児では定員の15%増までの範囲で入所を

きることから、4月1日の時点では待機児童がないうよう調整し、今後一定の方向づけをしていく。

問 第3子目以降の保育料無料化について伺う。

市長 18年度から階層区分や市内居住期間など一定の要件を設けながら実施する。また、認可外保育所の通園児や家庭で子供を養育する場合でも一定の支援は必要と考えている。

問 学童保育の施設面での基盤整備は行政が責任をもって取り組むべきでは。

市長 入所希望者が高まっている中で、施設の安全性については第一番に考慮し、基盤整備については、公共施設等の既存の施設活用で対応していく、ない場合は、国の交付金制度の活用を図る

中で順次、整備をしていく。

問 甲賀病院の移転・新築の新聞報道はどこまでが白紙か。今後の計画は。

市長 地権者の反対で、当初計画地での移転は難しい。今後は病院整備検討会で協議し、組合議会に諮り進めていく。

問 AED（自動体外式除細動器）の設置・普及を。（AEDとは心臓が突然に止まった人に電気ショックを与え正常に戻す装置で誰もが使用可）と調整していく。

市長 今後、関係機関等



AED（自動体外式除細動器）

18年度予算編成を問う、財政運営と合併特例債について 行政改革と組織の再編について

清風クラブ



岩田 孝之

会派としてはじめての代表質問であり、清風クラブの基本スタンスと理念について申しあげる。

私たち清風クラブは政治信条、政策を共有する21名の同志で結成した政策集団である。

私たちは、中嶋市政の与党会派として中嶋市政を支え、甲賀市民の幸せを願い、市民憲章に謳われた「あいこうか」の具現化を進める。

そのため、執行部の皆様とは、緊張ある関係の中で、大いに政策論議を戦わせ、よりよい甲賀市政実現に向けてその責任を担っていくことを、ここに表明する。

問 18年度予算編成での、三位一体改革の影響はどうか。

市長 未確定だが、地方交付税の改革では大きな影響が出る。

問 市民サービスを確保し、新市建設計画に沿った編成方針はどうか。

市長 住民の立場で施策を再検討し、熟度や優先度を検討し重点配分する。

問 公約の実現に向け、中嶋色をどのように出すのか。

市長 市の総合計画を策定中であり、本格的にはその実施計画に位置づける。現時点では、義務教育の少人数化の実現等、手がけている事業の継続と、福祉施策の推進を図るため、第3子目以降の保育料無料化を実施に移す予定である。

問 財源不足、新規課題を踏まえ合併特例債の考え方、60%枠、288億



市制一周年記念式典

市長 後年度の負担を考慮し現時点でも適当と考えている。

問 行政改革、特に人員削減について。

市長 合併協議会の確認を受け、定員適正化計画を策定中であり、市民サービスのあり方や関係、役割分担の見直しを進め、職員の削減に取り組む。

問 組織の見直し、18年度はどうするのか。

市長 事務改善委員会の調査研究結果を踏まえ、新年度市民の視点に立った改善を図っていく。

各会派による代表質問が平成17年12月8日に行われました

18年度予算編成について

正政会



友廣 勇

問 目標数値の設定は、「予算編成委員会」等を

立ち上げてなされたのか。補助費の20%カットを発表したが、関係団体とどのように対処してきたのか、また本格予算編成までいどのように対処するのか。市長の諮問機関である地域審議会や区長会とは、協議したのか。次に、予算編成には、市民との協議及び途中経過の公表が必要ではないか。

に対し説明会を実施した。予算要求については、事業の内容を熟知している担当者が事務事業をゼロベースから見直し、必要なものとして要求されるものであり、結果として全職員が参加した予算となると考える。

パブリックコメントは、独自性を持った条例やマスタープランなどの策定作業の基礎的な部分で活用されるのが大部分であり、予算編成にこうした手法を用いることは適切ではないものと考ええる。

市長 予算編成委員会は設置していないが、予算編成方針を全職員に周知し、各課の予算担当職員

補助金では、各福祉団体長と個別協議をさせていただき、新年度の活動内容を聞くとともに、厳しい財政事情の説明を行い、ご理解を求めた。各地域の審議会では、それぞれの地域課題に対する予算の編成及び執行状況を確認していただき、重要課題である地域の均衡ある発展が図れるようご意見をいただいている。

甲賀市区長連合会とは財政状況をご理解いただくよう現在協議を進めてい



新春の那須ヶ原山頂からみた市内

◆その他の質問事項
*公設ホームページの役割と国際化施策について

「福祉と健康のまちづくり」の推進

日本共産党



安井直明

問 市議選では「保健と福祉」や「健康と福祉」

のまちづくりを訴えた。市民の願いにどう応えるのか。

合併でサービスは後退。支所の機能を高め、権限増こそ大きな支所だ。支所を充実せよ。

市長 市民の願いは認識している。財政が厳しい折、真に必要な施策を実施する。

総合的、効率的な支所が「大きな支所」だ。検討

討する。

保育料は、来年度から保育料負担の第3階層まで、第1子が小学校卒業までの3人目から無料にする。

問 国保税の引き下げ、介護保険料や利用料の減免制度、住宅リフォームの補助制度の創設を。

市長 国保税の引き下げは考えていない。介護保険料は、低所得者の負担軽減対策を講じたい。

問 国は、税源委譲と引き換えに国庫補助負担金の廃止・縮減、地方交付税の削減を。「地方行革」は職員削減と民間への移管だ。国の姿勢や、18年度予算の考え方はどうか。

市長 財政は、国と地方の努力が重要。18年度は、歳入減少で厳しいが「人の心を大切にすあいの



ある行政」を推進する。

問 新幹線栗東新駅への負担や、同和予算、個人施策や同和減免も見直すべきだ。低工法や、企業誘致の減免は廃止すべき。

市長 新駅は公共交通の利便性向上や地域経済の活性化に期待する。同和問題は部落差別がある限り、「人権尊重のまちづくり条例」具現化のため、一般施策も視野にいれ適切な予算措置をする。低工や、企業誘致の減免は、企業を誘致し、就労機会の確保のために必要。

3人目からの保育料無料化実現へ(条件付)



一般質問 15名が問う

○国道307号長野バイパス について ○後発医薬品促進について

松本 昌市

国道307号線(信楽町)



問 国道307号長野バイパスの早期実現を望むが、地域住民に対する十分な説明が行われているか。

市長 特に牧・勅旨地区では説明会を7回開催している。また、沿線各地域において住民懇話会を開催している。

計画ルートに反対の意見もあるが費用対効果や早期供用開始など諸条件を検討し、県が補助採択を受けて進めている。事業主体はあくまでも国・県であり、決定されたルートを変更することは財政状況の上からも困難であり、今の機会を逃すことで何十年も遅れていくことが懸念される。

問 新薬の開発には10年を超える期間と数百億円

にも上る膨大な投資が必要とされており、後発品は3年〜4年の期間に数千万円程度の投資で開発されるため薬価は新薬の2割〜8割と安くなっている。

病院事務部長 市立病院の後発医薬品の購入金額の比率は平均で7・9%。薬事審議会で医師と薬剤師と充分協議を行い患者さんの理解を得て、今後とも採用促進を図っていきたい。

○JR草津線を『甲賀線』に改名運動を ○道路危険箇所の点検・改良を

河合 定郎

問 駅を中心とした「くらしのまち拠点づくり」がすすめられているが、

より愛着を持ち、甲賀を元気づけるため『JR甲賀線』へと改名する市民運動を展開してはどうか。

市長 愛称を取り入れた先進事例として、琵琶湖線や鹿児島島のJRゆめ咲線などがあり、草津線複線化促進期成同盟会でも、沿線のイメージに相応しい愛称で、利用促進につなげようとJR

西日本に要望されている。今後は沿線地域の同意や費用対効果など調査研究を進め、市民の盛り上がりにも期待している。

問 近年の交通量の増加に加え、第二名神の開通により市内の道路事情も大きく変わる。道路の危険箇所の点検・改良と広域交通網の整備が急がれるが。

建設部長 県道については、道路整備アクションプログラムに基づき、改築系や交通安全事業を順次進めていただいているが、緊迫した財政事情もあり、事業の進捗は思わしくありません。

市についても、道路整備計画を策定し、総合的な観点から、計画的に取り組んでいきたい。

○新型インフルエンザ対策について ○観光行政の推進について

葛原 章年

問 大流行が懸念されている、新型インフルエンザに対しての対策は。

市長 世界的な流行の可能性が指摘されているがその感染力や症状の程度は、現在では予測が困難といわれている。国の行動計画が策定されたことを受けて、今後、県の計画が具体的になるので、市としても対応していく。

問 市立の病院での対応策はあるのか。

市長 市立病院では、院内感染対策委員会を設置し、受付窓口でマスクを配布するなどの対応に努めていく。

問 学校での児童、生徒に対する予防指導は。

教育長 抵抗力の弱い児童、生徒にとっては、十



みんなでガラガラかぜ予防 信楽町明照保育園にて

分な栄養と休養をとること。うがいやマスクの着用を指導し「保健、たより」や学級指導を通じて保護者への啓発に努めている。

問 観光行政について 旧町単位で開催されているよく似たイベントを整理、統合するべきではないか。

市長 甲賀市の豊かな観光資源を生かしつつ、地域固有の伝統行事を残しながら、市観光協会とも協議し、独自の市民企画型のイベントに対してそのきっかけづくりに努めたい。

トリックアートで話題ある甲賀駅。次は甲賀線で話題を...



ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

野洲川河川敷公園でのクラブ活動風景



●公立甲賀病院移転計画の進捗状況について
●「スポーツの森」総合公園隣接道路の交通安全対策について

鴫 飼 勲

準備室を設けて取り組んできた。

新聞報道の特定地権者による移転用地の売却拒否の現実を踏まえ、可能な限り地権者の意向を事業計画に反映し、打開策を見出すための妥協案を示して交渉してきたが理解が得られない結果となった。

今後は病院組合の議決事項と旧7町長の確認書を尊重した中で早期に事業を進める方向で取り組みたい。

問 「スポーツの森」総合公園隣接道路の交通安全対策について。

建設部長 現在、陸上競技場の設計調査を実施しており、水口大橋南詰から入口ゲートまでの間の歩道計画を検討したい。

市長 甲賀・湖南両市を中心とした地域保健医療体制の早期充実を図るために庁内に甲賀病院移転

公園内を縦断している市道水口・北内貴幹線については入口ゲート付近に利用者の安全確保のために早急に横断歩道を設置すべく県警察本部及び公安委員会に要望する。

●鉄軌道ネットワークの整備方針を問う
～びわこ京阪奈構想、JR草津線複線化、JR関西線の機能強化、新幹線栗東駅等～
●県内産間伐材の利用促進とびわ湖森林づくり県民税について

中西 弥兵衛

問 びわこ京阪奈構想の早期実現のため国の学研都市・都市再生プロジェクトに位置づける取り組みが必要ではないか。

市長 現状から判断すれば上位計画への位置づけは難しいと考えるが「びわこ京阪奈線鉄道建設期成同盟会」と「京都府南部横断鉄道新線研究会」との連携強化を図りながらなお一層の取りくみを推進したい。

問 三重・畿央首都機能移転を前提にJR草津線関西線、新幹線栗東駅関連の機能強化を図られた

市長 首都機能移転への条件整備の一つである高速交通網等の整備を段階的に進めるため関係各機



間伐材を使ったテーブルとベンチ

関、市民と協力しながら実現に向け努力したい。

問 17年からスタートした「びわ湖森林づくり基本計画」の重点施策の中に「間伐材の公共事業等の利用」があるが本市の利用状況と今後の取りくみ方針について問う。

建設部長 公園施設の他学習机や農林業関連工事等で地元産材を一部利用している程度であり、

今後は加工品の材質、用途の研究も含め可能な限りその活用に努めたい。

●合併後の「住民サービス」の住民評価と支所機能の見直しについて
●新幹線栗東新駅負担金の甲賀市の判断について

藤井 克宏

見直しては。

市長 合併により不便になったと感じる事の無いよう、常に問題意識を持ち改善に努める。本年度も組織・機構の再編と、支所への予算配当を行った。今後、職員で組織する「事務改善委員会」等の検討結果を踏まえ、市民の視点に立った改善を図って行く。

問 栗東新駅設置負担金問題と本市重要施策推進について問う。

市長 本市にとっては、交通便利、経済波及効果

が期待できると認識している。建設費負担金2億5千万円は受益に見合った額である。重要施策の内、県道大津信楽線改良は早期整備に向け、県当局と共

に国に對して強く働きかけを行く。



信楽支所

問 支所の権限・機能を

議事録・ビデオは各支所においてもご覧頂けます。

○通信環境の整備について ○市の電算処理経費について

拙 藤 男

問 通信環境の地域格差を無くすよう環境の整備等はされているか。

市長 通信格差の解消をはじめ、情報の一元化、災害時の緊急通報システムの確立、行政サービスの高度化・効率化などを目標に今年度より本格的に地域情報化の推進に取り組んでいる。リアルタイムな情報交換ができる市内全域にわたるシステム構築に向け、地域情報化計画原案の策定を進めている。

問 電算処理システム運



水口庁舎電算室のコンピュータ

用後の経費について問う。

企画部長 システムの

採用は、ソフトウェアの開発経費や機器の購入経費、保守経費他、ネットワークの拡張性や保守、操作性などを総合的に判断し決定されたものである。またシステム開発にかかる個々の調整経緯や他市の事例等にも配慮し、慎重かつ適切な経費面での精査に努めている。

新たな情報通信技術にも対応でき、経費面でも節約できるパソコンやサーバーによる分散処理方式を採用している。

問 通信コストは、

企画部長 新しい通信方式を検討課題とする。

○道路は産業をよび、鉄道は人をよび ・甲南インター(仮称)開設に伴うアクセス道路の整備について ・甲南駅の改修と周辺整備について

木村 泰 男

問 甲南インターと結ぶアクセス道路としての広域農道の整備について。

市長 甲南インターと広

域農道との接続部分のカーブと勾配は、改善の必要があり、今年度甲南阿山伊賀線までの約750mについて概略設計を発注した。

問 主要地方道甲南阿山

伊賀線は、甲南インターに程近く、基幹道として整備すべきではないか。

市長 当路線の新集落内と磯尾地域は整備済みだが、残る新治地先の約2・2kmも、順次整備するよう県に要望していく。また、三重県側の未改良区間も、伊賀県民局と連携しつつ整備できるように

努めていく。

問 甲南駅の改修と周辺整備について、現状と課題、今後の進め方を問う。

市長 現在、地元深川区の協力を得て、駅南北広場と駅舎の設計に入っている。工事は、一期が甲南駅前線と駅南広場、二期に県道甲南停車場線、三期として駅北線と駅北広場の整備を予定している。膨大な移転補償費と工事費、10年を越える事業期間が必要となろう。平成21年をひとつの目標として事業着手したい。

甲南インター(仮称)完成予想図



甲南インター(仮称)完成予想図

- 水口文芸は県立の形で存続を要求せよ
- 高病原性鳥インフルエンザ対策について
- 旧水口の優れた施策を18年度に復活せよ
 - ①はり・灸などの助成
 - ②障害者のタクシー券の枚増を
 - ③小中学生の修学旅行の補助費の増額を!
- 公立甲賀病院の移転先問題について

小 松 正 人

がある。防護服を購入して備える。古城山カラスのウィルス保有調査をする。

問 はり・灸等助成は、
市長 現時点では考えていない。

問 建設予定額、用地代はいくらか、地権者の地元要求に誠実に応えたか。
市長 建設費は160億円以内。用地代は12億円を予定。予定地は治水排水対策を講じる。市は、病院組合議会の議決事項と旧7町長の確認書を尊重し、早期に事業を進める方向で取り組む。

問 市長は存続を強く主張されてきたが、県のその後の姿勢はどうか。
市長 市として移管には同意しない。県は一定期間の財政支援、人的支援をするとの考えだが、県は県として県民文化の創造の役割を当然果たすべきである。

問 管内養鶏場の支援対策はどうか。又古城山のカラス対策をせよ。
市長 世界的に流行の兆



野上池から虫生野山を望む

一般質問

検診カレンダー



○「健康と福祉のまちづくり」の推進
 ○新幹線栗東新駅建設問題
 ○JR宝木踏切の歩道の整備
 と交差点改良

山岡 光 広

選挙公約であった「福祉と健康を守るまちづくり」の推進、特に住民基本健診の充実、乳がん検診の改善、「厄年検診」、虫歯予防対策、障害者自立支援法によって負担増となる障害者とその家族への支援策。また新幹線新駅建設問題で市長の姿勢を、さらにJR宝木踏切に歩道整備を、同交差点改良など、市民の声や実態の写真を示しながら要求を実現するよう訴えた。主な問と市長の答弁は次のとおり。

問 「検診カレンダー」は新聞 折込ではなく自治会を通して配布を。

市長 自治会の協力を得て直接市



JR宝木踏切

民の手元に届くよう徹底していきたい。

問 2年に一度となった乳がん検診を毎年受診できるように。

健康福祉部長 対象となる年に受診できなかった場合は翌年に受診できるようにする。

問 JR宝木踏切に歩道整備を。

市長 困難：踏切基準が緩和された。安全性が確保され、要望あれば検討するとJRは言っている。

市長 市からJRに要望していく。

○環境美化条例の制定、地域ブランドへの取り組み等について伺う

加藤 和 孝

問 環境美化条例の制定が必要では。

市長 モラル意識と大きく拘わるもので、条例制定はあまり望ましいものとはいえないが、市民の皆様のご意見等をお聞きせ頂きながら検討していく。



放置された団地内の空き地

問 カラス対策に黄色のごみ袋を採用しては。

市長 生ごみは専用の回収ボックスを使用することで、カラス等の餌となることがない。金網ボックスが置けない場所では、生ごみ回収に取り組んで頂きたい。

問 地域ブランド化の戦略的取組みが必要では。

市長 まずは厳しくなる産地間競争、国際競争のなか、産地が生き残っていく上で、地域ブランドは効果的であり必要である。セミナーの開催や国・県の指導を得ながら、地域ブランドアドバイザーの招聘など、他との差別化を図っていくための支援をしていく。

問 職場体験事業を全中学校で継続して実施すべきでは。

教育長 本年度から三年計画で全中学校において、5日間の職場体験学習をスタートさせた。この体験学習を通して子ども達の働くことへの関心・意欲の高揚等を積極的に図ってまいりたい。

○お子様、お年寄りや障害者が安全で安心して暮らせる町に
 ○道路計画について
 ○安全で安心な町づくりと危機管理について
 市、施設の有効活用について

酒巻 昌 市

問 児童の校内、登下校時における安全対策は。

教育長 ハード面、ソフト面の対応マニュアルによる訓練と、関係機関、地域とも協力連携し、計画的、継続的に指導を実施する。

問 お年寄りが心豊かに暮らせる生活環境を。

市長 介護家庭の疲労解消、高齢者のみの世帯、一人暮らし家庭の増加が予想され、お年寄りが住み慣れた地域、家で生涯を全う出来るよう、将来の高齢化を見据えて地域に小規模施設を設ける。

問 障害者が健康な人と共に暮らせる生活環境を。

市長 甲賀市のバリアフリー基本構想の中で住環境を整備する。

問 耕心宅地内の早朝深夜に及ぶ身に危険を感じる生活環境の解決策を

市長 通行車両の削減を図る方策として、国道307号線から希望ヶ丘を通過し、更に先線の県道と野嶺線へ結ぶ道路整備が必要である。

問 交通安全緩和、防災など総合的に、道路整備計画を早期に樹立する。

市長 関係機関と連携し地域活動支援策として、資材、機器購入を補助。

「危機管理」は情報伝達、避難、備蓄、他市町村と連携強化し体制を強化。



一般質問

○学童保育の今後について ○市民活動の活性化と拠点活用

橋本 律子

問 子どもを狙った事件が相次ぐ中、保育に際しより安心安全な対策・環境づくりが必要である。保護者・指導者・地域・学校等とより密接な連携が求められる。次の点について伺う。

各保育所運営の理念と責任のあり方どう考える。

市長 本市では現在13クラブを放課後児童健全育成事業として、市が実施主体となり公設民営している。各クラブの運営方針に基づき、特色をもち運営していただく方針。安心安全体制、公設民営の事故時の責任のあり方については、クラブにおいて万全を期していただいている。設置者の責任については市が負うことになる。

問 財政補助等の今後は？
市長 公設民営というこ

とから運営委員会に委託料を支払い運営。18年度より公平なクラブの利用料を統一、健全な運営のため財政支援していく。

市民活動の活性化を

問 市民の人材バンク等を活用できないか？

市長 来年度より人材バンクの創設を計画。生涯学習サポーターネットワーク等の登録制度も創設し、具現化していく。市民の方々の「もつたいない」という気持ちを念頭に要望を聞き、庁舎及び人材の活用を図っていく考えで、現在委員会で検討中。



○指定管理者制度について ○スポーツによる地域づくりについて

林 勝彦

問 ①指定管理者制度が導入され経費削減が優先し、施設の管理やサービス提供が低下するのでは。

②選定方法や手続きは、どのようにされるのか。
③制度導入後も施設使用の減免措置は受けられるか。

市長 ①直営以外の公の施設については、指定管理者選定委員会で総合的に審査し、最も適当と認められる団体を選定する。②今12月議会に対象となる公の施設の設置管理条例の整備につき提案している。来年1月に選定手続き、基本仮協定の締結



地域づくりのスポーツ

現在の減免措置制度は継続される。

問 スポーツによる地域づくりと基本方針の中にスポーツをどのように位置づけるか。

市長 スポーツ文化の果たす役割は非常に重要である。「甲賀市スポーツ振興審議会」で審議いただき「甲賀市スポーツ振興計画」を策定し、「誰でも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しんでいただける環境づくりに力を注ぎ、「スポーツ振興と市民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活」の実現に向けスポーツの基本方針を考えている。

夢のあるまちづくり 東海圏とより深い交流を

土山 定信

問 市民憲章にも、取り上げられた「夢」について市長の基本姿勢は。

市長 描く夢、創る夢、守る夢、誇りにする夢があるが、私は、「人の心を大切に行政」を基本姿勢にしたい。

問 夢について、市民の声をどのように吸い上げるのか。

市長 まちづくりアンケート、策定委員の公募などを通じて反映させた。

問 夢について、積極的な情報公開と直接的に話し合う機会について。

市長 物理的に可能な限り、各支所に情報公開コーナーを設置等、今後も情報触媒の有効活用や広報紙面の充実に工夫を凝らしたい。

また、対話については日程が許す限り、市内で

開催される催しには参加したい。他の公務の関係で難しいが、私は現場主義対応で臨んでいきたい。

問 第二名神開通により、東海圏、特に亀山市伊賀市との今後の交流計画は。

市長 すでに、東海圏との交流は深めており、陶器、道などをテーマに実施している。特に伊賀市は合併以前からの広域的な連携事業があり、今後とも防災面での協力も含めた交流を、また亀山市とは、観光面でも、定期的懇談会を行なっていく。



公立甲賀病院



組合議会などの動き

甲賀病院組合 議会報告

公立甲賀病院組合議会が11月22日開催され、議長に湖南市議会矢野迫次氏、副議長に甲賀市議会

山川宏治氏が選出された。

その後、公立甲賀病院組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について審議をし全会一致で可決した。

病院組合管理者の湖南市長谷畑英吾氏から、甲賀病院新築移転先である水口町虫生野の用地取得

についての進捗状況の説明があり、地権者の反対が強く、断念したことを明らかにした。
旧水口町が責任を持って用地取得すると旧6町に伝えていたが、進んでいなかった。

今後は、新たに甲賀市が用地を求め、新築移転を進める。

12月22日組合議会が開かれ、17年度一般会計補正予算を審議可決した。

甲賀広域行政組合 議会報告

(11月22日)

平成17年第3回臨時会 正副議長選挙について

議長 服部 治男(甲賀) 副議長 石原 善春(湖南)

議案16号 甲賀広域行政組合職員の給与に関する条例の一部改正

議案17号 平成17年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第2号)

議案18号 甲賀行政組合監査委員の選任同意について

今村 和夫(甲賀)

(いずれも原案可決)

平成17年第2回定例会

(12月22日)

議案19号 平成16年甲賀

広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定

議案20号 甲賀広域行政組合負担金分賦割合条例の一部改正

議案21号 民事調停の台意について

(いずれも原案可決)

交通対策特別委員会

委員長 安井 直明

副委員長 石川善太郎

松本 昌市

岩田 孝之

鵜飼 勲

辻 重治

今村 和夫

辻 金雄

橋本 律子

信楽高原鉄道



第一名神対策特別委員会

委員長 中西弥兵衛

副委員長 野田 卓治

山岡 光広

山川 宏治

木村 泰男

伴 資男

友廣 勇

加藤 和孝

河合 定郎

葛原 章年

第二名神高速道路



清風クラブ

代表 岩田 孝之
今村 和夫
野田 卓治
鵜飼 勲
拙 藤男
伴 資男
福西 義幸
山川 宏治
服部 治男
土山 定信
村山 庄衛
河合 定郎
中島 茂
辻 重治
木村 泰男
橋本 律子
辻 金雄
酒巻 昌市
中西 弥兵衛
葛原 章年
藤井 克宏



公明党甲賀市議団

代表 加藤 和孝
白坂萬里子
松本 昌市

正政会

代表 友廣 勇
石川善太郎
林 勝彦

日本共産党甲賀市議団

代表 安井 直明
小松 正人
山岡 光広

産業廃棄物対策特別委員会

委員長 福西 義幸

副委員長 小松 正人

林 勝彦

酒巻 昌市

中島 茂

拙 藤男

藤井 克宏

村山 庄衛

土山 定信

白坂萬里子

(仮称)淡海クリーンセンター
甲賀 完成予想図



議会運営委員会

委員長 岩田 孝之

副委員長 友廣 勇

加藤 和孝

安井 直明

橋本 律子

村山 庄衛

葛原 章年

山川 宏治

議会運営委員会



くろぎこうか

Vol.1

水口 スポーツの森



明るい子どもたちの笑顔が (子どもの森)

厳冬の甲賀。木樹たちは深い眠りについている…。でも、空でヒバリが、森から新芽の香りが漂う頃になると、郊外へ飛び出してリフレッシュしたくなる。
そこで新企画として、このページでは市民誰もが楽しめる公園と周辺施設の紹介をしていきます。
第1回目は「水口スポーツの森」です。

みどり豊かな憩いの広場として、地域住民から親しまれているスポーツの森は、野洲川沿いの丘陵地帯を切りひらいて、昭和40年代に建設、都市公園として平成8年に設置されました。
陸上競技場、野球場、ソフトボール場やバレー・

市民スタジアムが完成

今春、野球場が「甲賀市民スタジアム」として新装オープンとなります。グラウンド面積は約13700㎡で、中堅で、122mあります。この施設には、ナイター照明塔が4基、観覧席は二階に980席、三塁側内野席に160席、一・三塁内野階段席約640人、外野芝生席約2200人と、

テニスコートなどの競技施設や、ちびっ子広場、プール、ロッジ等を備えた、地域住民のスポーツとレクリエーションのための総合施設です。

約4000名近くが収容できる規模の施設となります。
12月議会で利用規定などの条例も可決されました。多くの利用が望まれる所です。



完成間近の甲賀市民スタジアム

また市民スタジアム東側の多目的グラウンドも現在整備中で、完成すれば文字通りスポーツの総合施設として充実され、一新されます。

みなくち子どもの森

スポーツの森東側に、自然いっぴいのひろい公園「子どもの森」があります。自然館、昆虫広

場、森や花の広場、体験農場などがあります。
230万年前の水口のようすを再現したもの、大地の魅力がいつばいの不思議な世界、地球の秘密など遊びながら楽しく自然が学べる施設です。
子どもたちと一緒に甲賀の歴史に触れるのもいいでしょう。

編集後記

輝かしい新年の幕開けを、それぞれの立場でご壮健にて迎えられてから、早、一カ月が過ぎました。▼昨年の10月の市議会議員選挙で、議員に選ばれた私たち30名による、第2期甲賀市議会がスタートしました。甲賀市の未来への道づくりを託された責任の重大さを感じつつ、一生懸命がんばる覚悟です。▼「もともと地上に道はない。歩く人が多ければ、それが道になるのだ」ということわざがあります。道なき道、未開拓の分野を進むには、大きな苦労もあるはず。▼三位一体改革の影響もあり、甲賀市の財政見通しは決して明るいものではありませんが、市民憲章にあるように、「かがやく未来に、鹿深の夢を」。気持ちだけは明るく、前向きに持ち続けようではありませんか?▼新議会、新編集委員での「議会だより」をお届けします。常任委員会での活動、動きに力点を置き、市の問題も取り入れながら編集をすすめていきます。ご意見等お寄せ下さい。

(広報特別委員会委員長 河合 定郎)

広報特別委員メンバー



- (右から) 委 員 舛 藤男
- 野田 卓治
- 小松 正人
- 副委員長 松本 昌市
- 委員長 河合 定郎
- 委 員 山岡 光広
- 木村 泰男
- 藤井 克宏